

# 令和4年度 事業計画 及び 活動予算

令和4年4月1日から令和5年3月31日まで

認定特定非営利活動法人 全国盲導犬施設連合会

## 1 事業実施の方針

「ともに生きる、ともに歩む」を共通の理念に、全国の動物福祉の精神を尊重した盲導犬訓練法人施設の連合体として、各訓練法人単独では取り組みにくい全国的な盲導犬の啓発活動を広く働きかけるとともに、盲導犬訓練士・歩行指導員資格の認定、盲導犬無償貸与事業に要する費用の一部助成・補助等を行い、盲導犬を希望する視覚障害者に一頭でも多く質の高い盲導犬を届け、視覚障害者の自立と社会参加の促進を図る。

- (1) 盲導犬普及のための広報誌『デュエット』・啓発ポスターの発行、補助犬同伴可ステッカーの作成・配布により盲導犬受入への理解を広めるとともに、視覚障害者・関係福祉施設・団体に向けて、墨字版・点字版・CD版の『盲導犬情報』を作成・配布し、必要な情報を必要とする立場の人に提供する。また、スーパーの店頭等で盲導犬ふれあい教室等、盲導犬への理解を促すキャンペーンを開催する。
- (2) 盲導犬の同伴入店拒否や事業者からの受入相談等各種問い合わせ、盲導犬に関する市民からの通報等、相談内容に応じ各施設と連携して迅速に調査を行い、速やかな解決にあたる。
- (3) 盲導犬育成の担い手である盲導犬訓練士・盲導犬歩行指導員の資格認定事業を充実するとともに、盲導犬訓練施設の職員を対象とした盲導犬訓練士・盲導犬歩行指導員のスクーリングとして、加盟施設職員相互研修会に参加することを認定要件とし、資格の付与、訓練技術・知識の習得や相互交流と連携強化を図る。
- (4) 全日本盲導犬使用者の会の団体賛助会員に入会し、盲導犬使用について情報交換を行うことにより、より安全な盲導犬の育成に役立てる。
- (5) 身体障害者補助犬法をより充実するため、国等への要請活動、並びに各施設責任者と盲導犬育成・訓練の現状などの意見交換、盲導犬の普及に向けた連絡・打合せ等を行い、施設間の連携を強める。
- (6) 各施設を通して盲導犬を希望する全国の視覚障害者に、社会参加と自立支援を目的とした盲導犬の無償貸与費用の一部助成・補助を行う。
- (7) 国や自治体を実施する盲導犬事業施策、視覚障害者施策について情報を収集し、各施設・視覚障害者に情報提供を行う。
- (8) 国際盲導犬連盟主催のセミナー（隔年開催）へ加盟法人施設職員が参加する際の交通費や参加費・通訳料の一部を負担するなどのサポートを行う。
- (9) 盲導犬育成事業の貢献者の功績を讃え、顕彰し永く後世に伝承する。

## 2 事業の実施に関する事項

### (1) 特定非営利活動に係る事業

事業名	事業内容	実施 予定 日時	実施 予定 場所	従事者 の予定 人数	受益対象者 の範囲及び 予定人数	支出見 込み額 (千円)
普及啓発事業	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 広報誌DUET15万部、ポスター6千枚、補助犬同伴可ステッカー等の作成・配布。</li> <li>・ 盲導犬使用者に向けた墨字版・点字版・CD版の盲導犬情報を作成、関係部署や盲導犬使用者、盲導犬希望者に配布する。</li> <li>・ ふれあい教室等、盲導犬啓発イベントの実施。</li> <li>・ 双葉取材に適確・迅速に対応する。</li> <li>・ 大型募金箱の新規作成・設置増加に対応する。</li> </ul>	令和4年4月1日～令和5年3月31日 令和4年9月、令和5年3月発行予定	募金箱設置店・公共施設・全国の盲導犬施設事務局 駅・ハコ等の店頭ほか	職員5名 職員1名 職員5名 職員5名	全国の市民企業、団体等 視覚障害者約31万人 盲導犬使用者 全国の市民企業、団体等	15,979

相談事業	・盲導犬に係る市民からの各種クレーム通報等について、加盟施設と連携して迅速な調査・解決にあたる。	令和4年4月1日～令和5年3月31日	事務局 相談室	職員5名	視覚障害者約31万人 全国の市民企業、団体	673
資格認定事業	・盲導犬育成の担い手である盲導犬訓練士・盲導犬歩行指導員の知識・技能を審査し、資格の認定を行う。	令和4年4月1日～令和5年3月31日	加盟施設	職員2名 審査員8名	受験者12人(予定)	1,212
研修事業	・資格認定受験者を対象とした「スキルアップ」を加盟施設職員相互研修会に組み込み、研修会の参加を認定要件とする。 ・テーマを決めて各施設の職員が一つの施設に集まり、業務見学・意見交換を行うことにより、盲導犬育成プログラムの全体的な向上を図る。	令和4年4月1日～令和5年3月31日	未定	職員2名 職員1名	盲導犬訓練士8人、歩行指導員4人(予定) 加盟8施設	4,163
使用者団体との相互協力事業	・盲導犬使用者団体である全日本盲導犬使用者の会の団体賛助会員に入会し、盲導犬使用について情報交換を行う。 ・全日本盲導犬使用者の会の交流会へ参加し、ユーザーサポートを行う。	令和4年4月1日～令和5年3月31日	事務局 未定	事務局2名 施設職員8名 事務局1名 施設職員6～7名	全犬使役員及び盲導犬使用者 全犬使会会員	150
情報交換及びネットワーク構築事業	・視覚障害関係団体と連携し身体障害者補助犬法をより充実するための要請活動を行う。	令和4年4月1日～令和5年3月31日	事務局	事務局5名 施設職員8名	視覚障害者約31万人	1,470
財政基盤支援事業	・視覚障害者の社会参加と自立支援を目的とした盲導犬の無償貸与費用の一部助成・補助を行う。	令和4年4月1日～令和5年3月31日	加盟盲導犬訓練施設	職員2名	盲導犬使用者、盲導犬希望者、加盟8施設	16,011
調査研究事業	・国・自治体実施する盲導犬事業・視覚障害者施策について情報を収集し、特に「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」について、各施設へ随時情報提供に努める。	令和4年4月1日～令和5年3月31日	厚労省 国家公安委員会 都道府県他補助犬議連	職員2名	視覚障害者31万人 盲導犬使用者	177
国際交流事業	・国際盲導犬連盟セミナーに、施設職員が参加する際の交通費や参加費・通訳料の一部を負担する等、サポートを行う。	令和5年	事務局	職員2名	加盟施設	3,500
顕彰事業	・盲導犬育成事業に貢献した人の功績を讃え、顕彰し、永く後世に伝承していく。	令和4年4月1日～令和5年3月31日	事務局	職員2名	盲導犬事業貢献者	107

(2) その他の事業

事業名	事業内容	実施予定日	実施場所	従事者の予定人数	支出見込み額(千円)
盲導犬グッズ販売	・盲導犬グッズの作成・販売。	なし	なし	なし	0